

議事録

会議の名称	平成30年度第3回加東市総合教育会議
開催日時	平成30年11月8日(木) 午前9時00分～午前11時00分
開催場所	社福祉センター2階レクリエーション室
<p>議長の氏名 (市長 安田正義)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>&lt;出席委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長 安田正義</li> <li>・教育長 藤本謙造 ・教育長職務代理者 田中寿一</li> <li>・教育委員 藤本洋二、神崎芳美、藤原哲史</li> </ul> <p>&lt;欠席委員&gt;</p> <p>なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副市長 岩根 正</li> </ul> <p>&lt;まちづくり政策部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり政策部長 柳 博之 ・企画政策課長 小林勝成</li> <li>・企画政策課副課長 下岡正裕 ・企画政策課係長 小林寿泰</li> <li>・企画政策課主事 藤崎純平</li> </ul> <p>&lt;教育委員会教育振興部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興部長 西角啓吾 ・教育総務課長 菅野勇一</li> <li>・教育総務課副課長 片嶋美紀 ・学校給食センター所長 簗田順子</li> <li>・生涯学習課長 芹生和也 ・中央図書館長 田中美紀子</li> </ul> <p>&lt;教育委員会こども未来部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども未来部長 広西英二 ・参事兼学校教育課長 藤原路寛</li> <li>・こども教育課長 壺井初美 ・小中一貫教育推進室長 柴崎俊之</li> <li>・発達サポートセンター所長 片山公子</li> </ul>	
<p>1 議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加東市教育大綱における各施策の平成31年度の取組内容について</li> <li>・第2次加東市総合計画(子ども版)について</li> <li>・東条地域小中一貫校の学校種について</li> </ul> <p>2 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1</li> <li>・資料2</li> <li>・資料3</li> </ul> <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「平成30年度第3回加東市総合教育会議・会議の経過」のとおり</p>	

(別紙) 平成30年度第3回加東市総合教育会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
委員	<p>1 開会 2 市長あいさつ 3 協議</p> <p>(1) 加東市教育大綱における各施策の平成31年度の取組内容について</p> <p>事務局説明</p> <p>施策1の子供たちの学力向上支援について、これまで小学6年生と中学3年生を対象に実施した学力検査ですが、4月に学力検査、結果が学校に戻ってくるのが8月の終わりから9月にかけてというような現状です。そのような中で、課題を洗い出して改善点を考え、対策を練るというのが、どうしても9月から始めると10月、11月になり、後手、後手に回ってしまうという現状であったのではないかなと思います。今日提案していただいたように、4年生を対象に実施するということになりますと、その子供たちのこれまでの学びを考えた上で、これからの学びをその学校で考えていけるという意味では、とても意義は大きいと思います。是非応援したい事業の一つです。小学6年生ではやっぱり遅いと思います。</p> <p>それから、これから学校の整備が進む中で、プリントデータベースやタブレットドリルの教材はとても有効だと思います。1クラスの教室の人数が多ければ多いほど、一人一人に対応することがより難しくなってくるので、こういった機器または教材を利用して、一人一人の個々の学力に対応していくことをやっていかなければなりません。</p>
委員	<p>やっぱり学校というのは本当に授業が大事だと思います。生徒指導とかいろんな事案が起こってくるわけですけれども、やはり根底にはいい授業ができていくかどうかというのが一番大切なことだと思いますし、教育というのはそういう地道な日々の活動の上に成り立っているものだなという思いを強く持っています。</p> <p>今回、大きな課題で新しい教育課程、指導要領が変わるわけですから、その取り組みの先を見据えてどう進めていくのかということになってくると思います。学力向上については、特に学校の授業を見たときに、子供たちが今回の指導要領の中でも、学びに向かう力ということが言われていますが、その主体的な学びは、タブレットやプリントデータ等に、繋がっていくと思いますし、基礎的な学力の部分でも貢献できるのではないかなと思います。</p>
委員	<p>先ほどの説明の中で、小学校の算数が全国平均より若干低かったという話がありましたが、学校へ行かせてもらって算数の授業を見ている感じでは、全体的によく理解しているなというような印象を受けております。ただ、ちょっと気になっていますのは、先生方が非常に丁寧に授業をされていますので、その授業の中での時間配分に苦勞されているような感じを受けました。したがって、今度小学校4年生を対象に学力調査を実施するということですが、それにあわせて、先生方の時間配分も含めて御検討いただけたらいいのではないかなと思います。</p>

委員	<p>私は、道徳が授業としての成績がつくというのがすごく気になります。今まででしたら道徳というのは答えが出ずに、みんなそれぞれの思いがあったわけですが、きちんと成績として出すにはどういう答えがいいのかというふうになってしまうと思います。道徳心というのはその家庭にすごく影響されると思います。</p> <p>授業として道徳をするなら、やはり早い時期の1年生のときから、きちんとした道徳教育をしていただいて、また、それだけではなくて地域の方々、いけないことはいけないのだとか、学校の授業だけで教えるのではなく、家庭だけでもなく、周りの方もやはり道徳というのを教えていく、こういうことは悪いのだとか、いいのだとかというのを続けていくことによって、道徳という気持ちがついていくのではないかなと思いますので、ただ、成績として出していくというのは難しいかなと思います。</p>
学校教育課 (参事)	<p>道徳の場合は、評価はありますが、評定はありません。5、4、3、2、1と、評価をします。その行動については行動の記録というのが別にあります。授業の中で評価をするので、この子はどういう感想を持ったとか、この子はこういう発表をしたとか、こういう狙いにそってこういう意見を言ったとか、という評価ですので、完全にこの子は自主性ができているか、できていないか、そこまでの評価まではいかないですが、親が見たときには、こういう考えを持っているのかとか、そういうのが分かればいいのかなと思います。</p>
教育長	<p>評価ということを聞くと、今5、4、3、2、1という、数字がすぐ出てくるわけですが、その子は日々の生活の中でどういったことを大事にして生活しているのかということを見ていくということが大事だと思います。</p> <p>それから、委員のほうから時間配分というようなことが出てきました。非常に丁寧な指導であるがゆえに45分の時間配分が非常に難しいということですが、丁寧にやればやるほど子供は受け身になってしまうということはよく分かっていますが、しかし、子供の今の状況を考えたときに、丁寧にやらざるを得ないということも一方ではあると思います。そのプレゼンに今陥っているということは、1つはあると思います。</p>
委員	<p>お礼も含めてですけど、たくさんの授業をしていただいて、特に子供たちの育ちというのを点数で見ただけではなくて、加東市の子供たちの育ちが豊かになってきているのではないかなという実感は持っています。この背景としては、人権教育、講演会等の授業をしていただいて、さまざまな人の生き方とかに触れながら、自分を見詰める機会を改めて持つことができているということもあると思います。そういうことも含めて、今年文化祭も見させていただいたのですが、加東市内の全ての子供たちが出品している絵と習字の作品を見ると、本当に色彩と感性が豊かな絵や字になってきているなというようなことを、改めて感じました。そういう数字では見えない感性であったり育ちであったりというような部分も私は大事だと思います。その背景としては、色々な授業をしていただいているおかげかなというようなことを思っています。是非続けていただきたいと思います。その成果が少しずつあらわれてきているのかなというようなことを思います。</p> <p>それから、ここに書かれている人権という視点につきましては、学ぶ機</p>

	<p>会が減ってきています。若年層に対して人権スキルアップ講座を重点的にしていただいているというのもとても大事なことと思います。今年の議会だったと思いますが、部落差別の解消の推進に関する条例が加東市でも制定をされたというようなことを広報紙で見ました。条例は条例として、できただけではなくて、やっぱり指導者としてその条例を踏まえて、これからどう子供たちに教育していくかというようなことについての関連も含めて、研修を積んでいただいたら嬉しいと思います。</p>
議長 (市長)	<p>私のほうから、先ほどのこの施策1番の3ページでセミナーを開催したとあるのですが、これをしたことによる成果は、どのようなものですか。</p>
こども 教育課 (課長)	<p>まだ現在、そのアンケート結果についてはまとめてはいないのですが、色々なところで開催することで一人でも多くの親子にこういった考え方があるのだという、こういうところが大事だということを一人でも多くの方に経験していただく、参加していただくということが大事ではないかなと考えております。</p>
議長 (市長)	<p>施策5番9ページ、英語教育の推進で、ALT1名の導入、これは1名増員したら経費はどれぐらいかかるのですか。</p>
学校教育 課 (参事)	<p>約530万円です。</p>
議長 (市長)	<p>それから、施策6番11ページの地産地消の推進事業で、新たに2品目というのは、これは何ですか。</p>
学校給 食セン ター (所長)	<p>9月上旬に加東市産のブドウを全校、1人5粒ですがベリーAを提供させていただきました。それから、今調整中ではございますが、12月に提供予定としております加東市産の山田錦の米粉を練り込んだ伝の助うどん、それを12月に2回提供する予定としています。</p>
議長 (市長)	<p>それから、12ページの播磨東地区の学校食育実践研究大会、加東市で開催ということですが、時期はいつ頃の話ですか。</p>
学校給 食セン ター (所長)	<p>播磨東地区の学校給食の研究協議会というものがございまして、加東市が当番市ということで、今会場等の準備をしております。そして、食育推進の事業につきましても発表ということで、当番に当たっております。食育推進専門員が中心となって調整をしております。時期については、平成32年1月でございます。</p>
委員	<p>英語教育の推進ですけど、本当に急速に英語教育というのが入ってきて、進んでいっているなというのはひしひしと伝わってきます。外国人の方も国内で見かけることが増えて、英語教育の充実というのはもう避けて通れないことかなと思っておりますが、この加東わくわく英語村の数字がここに出っていますが、講評は、どんな感じですか。</p>

<p>学校教育課 (参事)</p>	<p>A L Tの外国人が英語で話をします。英語で会話をしますので、非常に緊張もすると思います。英語でのコミュニケーション力を高めるということで、子供たちは非常に楽しみにしておりますし、効果としては凄くあったと思っています。さらには、このわくわく英語村の中で、オリンピアの留学生を迎えて、そこでゲーム等もしておりますので、そういう意味では非常に効果が高かったと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>小中一貫に向けて着々と進んでいますが、色々なことが決まって私どもも報告をいただきます。東条の方だけではなく、加東市内の多くの方が関心を持っておられます。こういった形で、学校の名前が決まるのか、効果とか、通学はどういう形になっていくのかなというのは多くの方が関心を持たれていると思いますので、色々な場面を通じて、できるだけ早目にお知らせをいただけたら有り難いと思います。</p> <p>それから、例年、年が明けてから新入生の説明会を行うわけですが、開校に向けて色々な思いを持っておられると思いますので、できるだけ早目の時期に準備をしていただいて、少し先にはなりますが、見通した準備の方をお願いしたいと思います。</p> <p>それから、4年生で学力調査ということで色々な課題を言われていますが、小学校から中学校への出前授業をしていただいていますので、一步前へ進めて、中学校から小学校への出前授業をしていただけたら有り難いと思います。</p> <p>それから、一つ心配なのですが、外国語が入り、プログラミング教育が入り、それ以外にも、生徒指導をしたり、あるときは保健の先生のかわりになって、悩みを聞いたり、本当に多方面に渡って勉強しなければいけないことが多いので、働き方改革ではないですが、頑張ってくださいと思います。</p>
<p>学校教育課 (参事)</p>	<p>そのとおりで、外国語が入ってきたり、プログラミングが入ってきたりして、研修をたくさんしているのは事実です。ただ、本当に今重要な時期になりまして、やっぱり2020年度というのが目の前にありますので、2020年度にスムーズに行くように頑張っているところです。ただ、学校の意見も十分聞きながら、焦らずに取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>まず、小中一貫校の整備に関して、非常に経費がたくさん要るようです。できるだけ叶えていただいていると思いますが、国庫補助の対象をうまく捉えてもらって、できるだけ多く受けられるようなことを考えていただきたい。ちなみに、消費税もその時期になってきますと10%に上がっていると思いますから、そういう配慮をお願いしたいと思います。</p> <p>それから、プログラミングのことですが、前もちょっとお話を申し上げたかもしれませんが、子供たちが実際にやっている姿を見てみますと、楽しそうですし、自分で創作的な意欲が向上するという意味では大変有意義なことではないかと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>小中一貫教育推進ということで、いよいよ東条が2年先にはできることとなります。ものすごく楽しみなのは、9年間同じ一体型の校舎で音楽の授業があるわけですので、授業とは別に全校生と一緒に何か音楽として行事ができるのではないかと。1年に1回ぐらいは大きい学年を中心に合奏を</p>

<p>発達サ ポート センタ ー (所長)</p>	<p>して、低学年はリズム楽器だけで入るとか、そういうカリキュラムを考えていってほしいと思います。</p> <p>それと、インクルーシブ教育の話なのですが、成人の方も相談に来てもいいということになったのですが、これは加東市内にお住まいの方限定でしょうか。</p> <p>はぴあのほうで実施させていただきますのは、加東市民の方を対象ということで実施しています。</p>
<p>委員</p>	<p>成人の方が、悩んでいる方がたくさんいらっしゃるのではないかと思います。多分成人の方も受け入れられるということをお聞きしたら、もっとたくさん来られるのではないかと思います。2019年度の取組で、より多くの市民が発達障害などに関する知識や理解を深め、適切な対応を学べるように取り組むとありますが、これが一番大事なことだなと私は思います。よろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>小中一貫校ですけど、長所、短所は必ずあると思いますが、失敗は許されない、本当に大事な大きな事業と思っています。お金もたくさんかかりますが、是非一貫校になってよかったと思えるような準備を着々と進めていただくのが、住民にとって、安心感に繋がるとしています。PTAの組織についてもこれからというようなことも先ほど説明していただいたのですが、その大元となっている連合PTAの方も併せて考えていかないと、東条地区だけのPTAを説明しても難しいと思いますが、連合PTAの方はどうなっていますか。</p>
<p>小中一 貫校推 進室 (室長)</p>	<p>連合PTAとの調整等は、まだ構想の中にも入っていないのですが、言われていますように、連合PTAとの意見交換等、必要になると認識しております。</p>
<p>委員</p>	<p>インクルーシブ教育ですが、この前、障害を持っておられる保護者の皆さんと話をしていると、いつも自分たちは後回しにされているとか、隅へ追いやられているとかというような意識を持たれている方がとても多いのが現状だと思います。近隣の特別支援学校を見ても、市の中心部にはない。小野にしても三木にしても北播磨にしても、市の中心から少し離れたところにそういう教育施設が必ずできています。何で市の中心部にはできないのかというようなことを、常々話を耳にすることがありますが、加東市は、「はぴあ」ができて、こういった発達障害や障害を持たれている方への支援等を大切にしているのが、先進的でいいなと思っています。是非市の中心部にそういう施設を位置づけることによって、障害を持たれている方が自分たちは大切にされているという思いが持てるような施策をしていただいたら有り難いと思っています。</p>

	<p>(2) 第2次加東市総合計画（子ども版）について</p> <p>事務局説明</p>
委員	<p>公立学校の使命としても、加東市ということに愛着を持つということはとても大切なことだと思います。現在、学校の方で税教室とか、外部から税の仕組みについて授業をするということもありますので、子供たちにとって分かりやすいパワーポイント等で内容についてお示しいただくと6年生は関心を持って学べるのではないかと思います。</p> <p>そこで、今回の指導要領の改訂で、持続可能な社会の担い手というようなことを、要領の中で言われていますので、人口の問題であるとか人口減がどういった形でこの市の課題に直結していくのかという、そういう視点を子供たちが持つことも大切だと思います。是非学校でも話し合っていたいて、有効に活用していただけたらと思います。</p> <p>言葉について、ちょっと読んで2点ほど気になりまして、個人的に気になっただけです。検討いただけたらと思います。</p> <p>2ページ、加東市の人口、友達の数が少なくなる。友達の数が少なくなるって、これは捉え方がいろいろあると思います。</p> <p>それから6ページ、求められているのは地域も大事にしながら世界に巣立っていくような人材を育成するというようなことも求められていますので、自分にできることリストで、「加東市に住み続ける」これ大事だと思いますが、加東市を大切にしながら巣立っていくというような視点で国際的な時代に住み続けるっていうのは、思いはよく分かるのですが、もうちょっと別の表現があると思いました。</p>
企画政策課 (課長)	<p>最後の意見ですけど、加東市に住み続ける、これ人口増を所管している部署としてはこの思いが強いということでございます。ただ、この表現についても調整しながらいきたいですが、思いとしてはこの思いが全てでございます。グローバルな方とかそういう方を育てていくというのもありますので、考えさせてください。</p>
委員	<p>使う用途がどうかとはちょっと離れた話になるかもしれないのですが、私これをいただいて、ふるさと加東を愛する心を醸成するということなのですが、考えたときに、子供が加東市を好きになるという気持ちになるためには、やはりその親世代も加東市はすごくいいな、加東市に住んでよかったなという親の気持ちが必要かなと思います。親が本当に加東市で生活していて楽しく過ごしていれば、子供は自然と加東市っていいところと思うと思います。私は親世代にも加東市のいいところをどんどん知ってもらえたらなという、そういう思いがあります。</p>
議長 (市長)	<p>そういうことだと思います。親世代が、自分の住んでいるまちを良くないと言え、子どもたちは、おのずとそういう思いを持つと思いますので、そうならないように親世代に、いいまちだと思ってもらえるようにしていきます。</p> <p>ただ、先般の市議会議員の選挙の投票率を見ましても、あれをどう捉えるのかなという、そんな思いをしながら見ていますが、51.49という、前回よりも6ポイント以上少ない。4月の市長選挙は、1回目の平成18年のときと比べますと、20ポイントぐらい下がってきています。これが</p>

	<p>今の現実です。我々としても、もっともっとまちづくりに興味を持ってもらわないといけない。そのために、どうやって興味を持ってもらうか。これは議員さんの方も同じような思いをお持ちだと思っています。</p>
	<p><b>(3) 東条地域小中一貫校の学校種について</b></p>
	<p>事務局説明</p>
委員	<p>本当にたくさんのお金を使って一貫校を進めるに当たって、一体型の校舎も建てるということで準備を着々と進めていただいています。そういう観点から考えても、やっぱり一貫校の長所を最大限に生かせるシステムは、義務教育学校であると思いますので。せっかくの施設、改革をうまく生かせる学校種であっていただきたいなと思っています。</p>
委員	<p>先のことになりますが、小学校、中学校の教員免許、当分の間は構わないと書いてありますが、これは見通し的にはどうなのですか。ずっとそれで行けるのですか。</p>
教育長	<p>はっきりしてないです。ただ、教員の免許のことですが、小学校で中学校の教員免許を有している職員は70%近いです。ということは、現在小学校へ勤めている職員で小学校だけの免許を持っているのが30%ぐらいで、ほかは小・中学校の免許も持っているということが1つあります。中学校の場合は、30～40%が小学校の免許を持っていて、そのほかは中学校の教員免許のみを持っています。ただ、こども園が先にやっていますように、保育園免許だけしかないとか、幼稚園免許だけしかないという場合に、ある単位を取れば、両方取得できるという制度も当然出てくるのではないかなと思います。</p>
委員	<p>学校をイメージしたときに、500名ということで、文科省も出しているように、その程度の規模であれば、義務教育学校が望ましいというのが一般的に考えられるのではないかと思いますし、これまで先進地の視察に行かせていただいたのですが、その施設の、学校長もおっしゃっていたのですが、圧倒的なアドバンテージというのでしょうか、やっぱり一体型、1つの施設に9学年の子供たちが集うということの意義や効果が考えられますので、東条については是非義務教育学校で考えていただければ有り難いと思います。</p>
	<p><b>4 その他</b></p>
議長 (市長)	<p>今日は短い時間でございましたけど、中身のある内容が非常に多かったなと思っています。小中一貫校については本当に後戻りできないということは本当に肝に銘じておかなければいけないと思います。</p> <p>また、英語教育については、現場の先生方の指導力の向上ということもやはり大事なことと思います。</p> <p>それから、小中一貫校というプロジェクトをやるわけですので、このことでやはり市内だけではなく、市外にもPRをしていかないといけないのではないかなという、そういうことをすることが、また子供たちにとってもこのまちの良さを伝えていくことに繋がると思います。</p>

ただし、これは絶対に失敗は許されない、そういう中で、どんどんPRをしてもらいたいです。

あと、総合計画子ども版でございます。そのことは、本当に子供たちがこれからの加東市、日本の未来を担ってもらわなければならない人材になりますので、十分にまちの現状を知っておいてほしいし、そして未来に向かって自分たちができることはなんだろうと、そういう視点を持っていただきたいです。

午前11時00分 閉会